

平成 30 年 2 月 5 日

平成 29 年度ふれあい行事開催報告

行事名	冬のカモ観察会
主催（後援）	稚内自然保護官事務所、利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会
開催日	2018 年 2 月 3 日（土） 10：00～12：30
場所	稚内地方合同庁舎 1 階会議室、稚内新港
参加者	参加者 9 名
行事の概況	<p>冬の稚内の港では、シベリア方面から越冬のためにやってきた海鳥を間近でみることであります。寒い冬だからこそ出会える鳥たちの特徴をまず知り、その後港へ移動して観察・カウントを行いました。</p> <p>観察では、稚内で多く見られるコオリガモ、クロガモ、シノリガモの 3 種類を一人一人にカウントしてもらいました。各自で 3 種類の見分けをしつつ、まわりの方と確認しあい、寒い中でも楽しく観察できました。他にも、ウミアイサの群れやオジロワシ・オオワシが飛んでいる様子、さらにアザラシも 1 頭観ることができ、幸運でした。</p> <p>数自体はそれほど多くはありませんでしたが、近くで主な種類を見ることができ、参加者には満足していただけたことでしょう。</p>

<活動の様子>



PV による受付の様子



室内での様子



港での観察の様子①



港での観察の様子②



観察できたコオリガモ



観察できたウミアイサ